

花巻の仕事

Made in HANAMAKI



ばんしょうやき びな
萬像焼(写真は地藏雛)

素朴な雰囲気と、ぬくもりを感じるニコニコとした表情が特徴のお地藏様や、お地藏様をベースとした各種の焼き物。広島県から取り寄せた上質の陶芸用粘土を使い、手作りで制作しています。花巻のお土産品として人気を集めるほか、贈答用として県外の寺院などからの注文もあります。

窯元 萬像焼 遊心窯 栗原恵美子
[販売:(有)ナチュラルパワーウッド]

所在地 葛第8地割203(☎26-5637)

窯元概要 平成7年開窯。京都で出会った古い石仏の“笑み”が忘れられず、作品を作り続けている

■**どんなトラブルがあるの？**
○来訪した女性から「マイナンバー制度の導入に伴い、個人情報調査中です」と言われ、資産や保険の契約状況などを聞かれた
○若い男性から「マイナンバーが順次届いており、みんな手続きをしているが、あなたは手続きしたか」と電話があった。「まだしていない」と答えると「早く手続きしないと刑事問題になるかもしれない」と言われた

■**注意することは？**
○マイナンバーについて、国や自治体の職員が個人情報を知ることはありません
○怪しいと思ったら、すぐに電話を切り、訪問の申し出があっても断りましょう
○金銭を要求されても支払わないようにしましょう
■**困ったときは？**
○本庁市民生活総合相談センター(☎24-2111内線259)へ
※マイナンバー制度の問い合わせは総務省の総合フリーダイヤル(☎0120-9510178)へ

マイナンバー制度に便乗した詐欺に注意!

市民生活コーナー

もっと蒔絵を身近に さまざまな素材に挑戦

◆**蒔絵とは**
漆を付けた絵筆で漆器などに絵を描き、それが乾かないうちに金や銀などの粉を「蒔いて」絵柄を定着させる技法のことです。漆を塗り重ねることで、立体的にしたり、遠近感を出したりすることもできます。

◆**今後の目標は**
依頼された仕事を何でも引き受けられる職人になりたいです。これまでもスマートフォンのカバーや鉄器、自動車のハンドルなど、さまざまな素材に蒔絵を施してきました。新しいことに挑戦することで、仕事に誇りが持て、腕を磨くこともできると思います。もっと蒔絵を身近に感じてもらえるよう、いろいろなものとコラボレーションしていきたいですね。

パーソナル 110



おかわ あきら
大川 彰 さん
(星が丘 40歳)



県内では珍しい、蒔絵師として活動している大川工房の大川彰さん。華やかで繊細な作品を作り続けています。

工房を構えました。現在は、蒔絵師として漆器に加飾する仕事を中心ですが、漆器を塗る仕事をすることもありま

世界と花巻

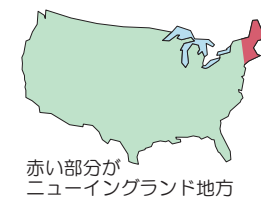
The world and HANAMAKI

vol.33

和製英語「ヤンキー」

皆さんは「ヤンキー」という言葉からどのようなことを想像しますか。実はこの「ヤンキー」という言葉には、アメリカの歴史が深く関わっています。

アメリカ北東部のニューイングランド地方には、17世紀ころから、ヨーロッパからたくさんの人々が入植しました。そこには「Jan」や「Kees」、またはこれを組み合わせた「Jan Kees」というオランダ系の人々によくある名前を持つ人が数多く住んでいました。そのため、オランダ出身の入植者は「ヤンキース」と総称されていたようです。



赤い部分がニューイングランド地方

1773年からアメリカ独立戦争が始まり、ニューイングランド入植者もイギリスと戦いました。そ



花巻市国際都市推進員
ガットマン・ジェシー

のころから、オランダ以外の国から来た人も含め、ニューイングランド入植者はみな「yankee」と呼ばれるようになりました。

現在、アメリカ以外で英語を話す国では、「yankee」は「アメリカ人」という意味で使われ、少し差別的なニュアンスがあります。では、当のアメリカ人は「yankee」という言葉からどのようなことを想像するのでしょうか？

実は同じアメリカ人でも出身地によって捉え方が違います。アメリカ北東部、特にニューイングランド出身の人たちは、「独立戦争で私たちアメリカ人の自由を守るために戦って死んだ人たち」とイメージします。しかし、南部の出身者は、ただ単に「北の人」という意味に捉えます。これは後世のアメリカ南北戦争の影響ですが、これはまた別の機会にお話ししましょう。

いきいき仲間たち



子どもたちに夢と希望を

花巻おはなしキャラバン

[連絡先]
代表 平賀 喜代美 さん(☎28-2549)

「花巻おはなしキャラバン」は、子どもたちに本を読む楽しさを伝え続けているボランティアグループです。活動を開始したのは昭和51年10月。市のボランティア講座を受講したメンバーが集まり、昔話などを人形劇にして子どもたちに見せるようになったのがきっかけです。現在は、約20人のメンバーが月1〜2回 保育園や小学校などを中心に読み聞かせや紙芝居などの活動を行っています。39年にも及ぶ歴史のある同グループ。活動が親子3代にわたるメンバーもいます。長い間活動を続けてこられた活



保育園で大型紙芝居を実演。表情豊かな絵とお話で、テンポ良く進めます

力の源は「何よりも子どもたちの笑顔、そして一緒に活動する仲間がいたこと」と代表の平賀さんは話します。子どもたちが本に親しむことで心豊かに育つよう願いつつ、子どもたちから「生きがい」をもらって活動を続けています。



花巻市国際交流室フェイスブック

英語版 <https://www.facebook.com/HanamakiExchange>

韓国語版 <https://www.facebook.com/KoreaHanamakExchange>